

第31号

◆◆2004年3月◆◆

発行元：社団法人 家畜改良事業団 家畜バイオテクセンター
 URL：http://liaj.liaj.go.jp/ (http://liaj.or.jp/ivf/)



大阪枝肉研究会当日の朝、盛況を予感させる日の出となりました。



CONTENTS

1. NEWS 第2回 大阪体外受精卵産子枝肉研究会
2. 体外受精卵産子の家畜市場での販売動向
3. おじゃまりポート J A全農おかやま総合家畜市場
4. 蒜山酪農農業協同組合

第2回大阪体外受精卵産子枝肉研究会は上々の成績 愛知県みどり牛乳農協が2年連続で金賞受賞

「いい枝肉が揃っているなー」、こんなコメントが購買者の方々の口から漏れた第2回体外受精卵産子枝肉研究会が、3月3日～5日に大阪市中央卸売市場南港市場で開催されました。

今回は、8府県9団体から合計34頭が出品されました。

昨年3月に開催された第1回目の研究会では、出品牛の62.5%が4等級以上に格付けされる成績でしたが、今回はそれを17ポイントも上回る79.4%が4等級以上に格付けされました。今回の出品牛は全体的に肉量に富み、バランスの取れた枝肉が多く見受けられたと、審査委員長である社団法人日本食肉格付協会の船本近畿中四国事業所長から講評がありましたとおり、平均枝肉重量は455.0kg、平均単価1,924円、平均販売金額877,466円の優秀な成績が収められました(表1)。

この研究会の最優秀賞に相当する金賞は、愛知県みどり牛乳農協の(有)一英企業さんから出品された「美津福」の体外受精卵産子が受賞しました。なお、入賞牛6頭の成績は表2のとおりです。

金賞を受賞した(有)一英企業の榊原代表は、「選畜の段階で、枝肉成績が期待できる感じがしていた。金賞を取れて満足している」と受賞の喜びを述べられていました。昨年もみどり牛乳農協からの出品牛が金賞を受賞しており、2年連続で金賞受賞となりました。(miya)



(有)一英企業代表
榊原寛治氏



金賞の枝肉

表1. 種雄牛別成績一覧(第2回大阪体外受精卵産子枝肉研究会)

種雄牛	性別	頭数	月齢	枝肉重量(kg)	ロース断面積(cm ²)	BMS No.	枝肉単価(円)	販売金額(円)
安福165の9	去勢	13	28.4	470.5	65.5	6.3	1,957	925,860
	牝	6	29.7	456.2	72.8	6.0	1,933	883,553
	計	19	28.8	466.0	67.8	6.2	1,950	912,500
美津福	去勢	2	29.5	446.4	58.0	7.0	2,274	1,009,371
福栄	去勢	3	29.7	450.7	57.3	6.7	1,850	832,135
	牝	7	28.3	420.7	58.0	5.7	1,852	778,397
	計	10	28.7	429.7	57.8	6.0	1,852	794,518
安福栄	去勢	2	28.0	489.6	68.5	5.0	1,831	895,935
北仁	去勢	1	25.0	447.6	54.0	4.0	1,653	739,882
全体	去勢	21	28.5	446.1	63.4	6.2	1,946	908,718
	牝	13	28.9	437.1	64.8	5.8	1,890	826,930
	計	34	28.6	455.0	63.9	6.1	1,924	877,446

表2. 入賞者一覧(第2回大阪体外受精卵産子枝肉研究会)

入賞区分	最終肥育地	出荷団体	生産者名	種雄牛	月齢	性別	枝肉重量(kg)	格付	ロース断面積(cm ²)	BMS No.	枝肉単価(円)	販売金額(円)
金賞	愛知県	みどり牛乳農協	(有)一英企業	美津福	30	去勢	429.8	A5	58	8	2,606	1,120,058
銀賞	熊本県	熊本県酪農協連	金子美之	安福165の9	26	去勢	493.0	A5	75	9	2,350	1,158,550
銀賞	熊本県	熊本県酪農協連	金子美之	安福165の9	29	去勢	463.2	A5	63	8	2,190	1,014,408
銅賞	熊本県	熊本県経済連	中村正志	安福165の9	26	去勢	486.2	A5	98	11	3,041	1,478,534
銅賞	島根県	松永牧場	松永牧場	安福165の9	28	去勢	451.4	A4	72	7	2,020	911,828
銅賞	長野県	信州うえだ農協	峰村富治	福栄	29	牝	379.8	A4	63	7	2,001	759,979

(敬称略)

体外受精卵産子の 家畜市場での販売動向

体外受精卵の移植が全国的に普及しつつある今日、生まれた子牛が取引される家畜市場も徐々に増えています。これまでも、体外受精卵産子の全国各地



における販売動向の特集記事を掲載してきましたが、今回は最近の全国的な動向をまとめてご紹介したいと思います。

近畿・中四国

岡山県総合家畜市場が、体外受精卵産子の取引の中心となり始めました。これまでは、素牛販売が取引の中心でしたが、昨年1月からはスモール販売が実施されるようになり、2~3ヶ月毎に体外受精卵産子を集めた市場が開催されるようになりました。この市場でも県内のみならず、大阪・京都府、兵庫県のほかに四国からも子牛が持ち込まれており、出荷頭数も徐々に増加してきています。また、市場の活性化に伴い、近隣生産地域での移植も進み、今後の市場販売動向は大いに期待できるといえるでしょう（3頁に特集記事）。

九州

体外受精卵産子の市場販売と言えば熊本県家畜市場といっても過言ではないくらい、同市場の活況は衰えることを知りません。この市場も県内はもとより、沖縄県を除く九州全域から産子が持ち込まれており、活発な市場が毎月行われています。子牛の日齢を90日で区切り、それ未満をスモール、それ以上を育成と区分してセリが行われています。今年の2月には、両区分を併せると一開催で100頭を超える出荷があり、今後もこの状況が続くと思われます。また、この家畜市場の販売動向が、全国の手本になっているといっても良いでしょう。

体外受精卵の移植を行う前に、子牛の流通ルートの確立をお願いしてきましたが、現在では全国各地の家畜市場で体外受精卵産子の活発な取引が行われています。今回は紙面の関係上、各市場の詳細な販売成績を事細かに掲載することはできませんが、ホームページ上でも最新情報を提供していますので、参考にいただければ幸

いです。（<http://liaj.or.jp/ivf/>）

これから体外受精卵産子の販売を計画されている生産者の方も、すでに販売されている方も、子牛の損耗を防ぎ、健康な子牛を作るための哺育技術を確認にすること、計画的な移植で子牛の上場頭数を揃えることが、家畜市場での販売のポイントではないでしょうか。（miya）

北海道

道内では、基本的に素牛販売が続いています（南北海道・十勝・北見家畜市場）が、中標津町に位置する根室家畜市場の一般市場で体外受精卵産子の初生とくが販売されています。販売当初は、生後1~2週間で販売されていましたが、今後は数週間の哺育後に販売される予定です。さらに、釧路や上川管内の家畜市場でも、同日齢の産子を販売する計画で移植が進められています。

東北

これまで各地で販売実績がありました。最近の岩手県中央家畜市場と福島県本宮家畜市場での販売頭数の増加に注目です。一箇所に集中的に上場し、高い販売価格が現実のものとなったことから、青森・岩手・福島県では集中的な移植が行われており、今年末には多頭数が上場される予定です。また、今年1月には秋田県大曲家畜市場で初生とくの販売があり、2頭ながら高値で販売されました。

東海

愛知県の豊橋家畜市場でも、出荷頭数が徐々に増えています。この市場の特色は、いわゆるスモールより若干長め（3~5ヶ月）の日齢の子牛が販売されている点です。昨年6月には、この市場での体外受精卵産子上場総頭数が100頭を超え、ますます多くの取引が期待されます。

関東・上信越

体外受精卵産子が家畜市場で販売されるようになった当初から、群馬県の前橋・館林の両家畜市場で取引が行われてきました。とくに最近の前橋家畜市場には、県内は言うに及ばず長野や新潟県からも子牛が持ち込まれており、産地に関係なく高値で取引されています。また、千葉県家畜市場での販売も継続されており、こちらも安定的な価格で取引されています。

主な家畜市場における体外受精卵産子の販売状況

県名	家畜市場名	平均販売価格(円)		平均日齢(日)		平均体重(kg)	
		雄	雌	雄	雌	雄	雌
岩手県	中央家畜市場	286,531	199,000	41.9	55	55.1	52
福島県	本宮家畜市場	340,167	292,556	69.3	77.8	70.7	73.2
群馬県	前橋家畜市場	337,703	247,764	78.9	80.0	93.9	87.6
愛知県	豊橋家畜市場	371,324	308,190	131.2	141.9	142.6	148.8
岡山県	総合家畜市場	279,333	244,818	84.6	88.9	86.4	87.7
熊本県	県家畜市場	340,749	244,523	76.9	75.3	91.8	82.8

JA全農おかやま総合家畜市場では、 体外受精卵産子のスモール販売が順調です。

卵通信28、29号でもご紹介したJA全農おかやま総合家畜市場（久世町）で、平成15年1月から体外受精卵産子のスモール販売が始まり、今回3月2日の市場で7回目をむかえました（上場実績：合計63頭）。販売成績は堅調で、同一開催日のF1に比べ、雄雌ともに10～15万円高で販売されています（グラフ1）。

同市場における過去6回のスモール販売実績が好調であるため、同市場には岡山県内だけでなく、近隣府県からも産子が出荷されてきます。これまでの出荷実績は、京都・大阪府、兵庫・広島県、また瀬戸内海を渡って香川・愛媛県と広範囲にわたり、購買者も県内外から集まってきています。今回3月2日の市場は15頭が上場され、そのうち11頭が岡山県内、2頭が兵庫県、残り2頭が大阪府からの出荷でした。

昨年からは近隣府県での体外受精卵移植が次々と行われており、今後も多くのスモール産子が出荷される予定です。

表1に3月2日の販売成績を、表2に市場7回分のベスト10を記しました。（maru）

表1．平成16年3月2日の販売成績（JA全農おかやま総合家畜市場）

	上場頭数	平均日齢(日)	平均体重(kg)	日齢単価(円)	平均価格(円)	同一開催日のF1平均価格(円)
体外受精卵産子 雄	12頭	77	79	3,539	272,500	雄 132,563
体外受精卵産子 雌	3頭	64	64	3,510	224,667	雌 58,129
体外受精卵産子 平均		74	76	3,553	262,933	平均 85,421

表2．スモール産子販売成績ベスト10（JA全農おかやま総合家畜市場）

種	雄牛	性別	日齢(日)	体重(kg)	価格(円)	同一開催日のF1雄平均価格(円)	出荷年月日
安福165の9	雄	雄	83	134	374,000	132,563	H16.3.2
安福165の9	雄	雄	102	119	355,000	101,472	H16.1.27
安福165の9	雄	雄	93	110	352,000	132,563	H16.3.2
安福165の9	雄	雄	71	86	349,000	140,490	H15.1.28
安福165の9	雄	雄	169	169	343,000	101,472	H16.1.27
松福美	雄	雄	150	150	343,000	101,472	H16.1.27
安福165の9	雄	雄	159	159	337,000	104,286	H15.5.20
安福165の9	雄	雄	75	75	334,000	132,563	H16.3.2
安福165の9	雄	雄	105	105	334,000	104,286	H15.5.20
安福165の9	雄	雄	131	131	331,000	122,074	H15.3.11

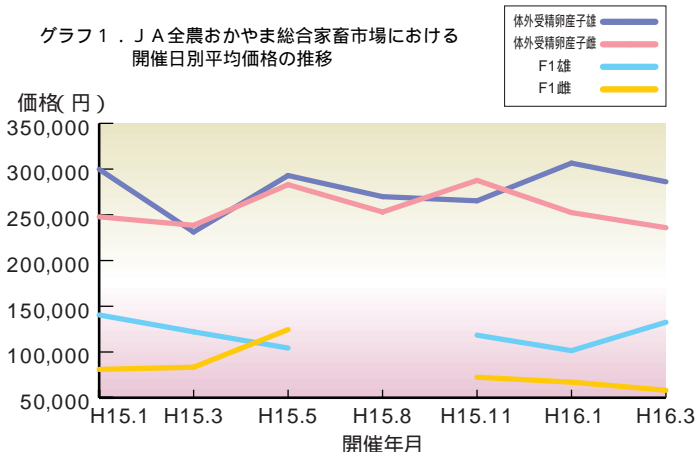


体外受精卵産子のセリが近づくにつれ、張りつめた空気が漂うセリ場



出荷された体外受精卵のスモール産子

グラフ1．JA全農おかやま総合家畜市場における開催日別平均価格の推移



出荷者の声

大封健太さん（兵庫県養父町）

近隣の酪農家で移植し、又レ子で引き取っている。今までは肥育まで行っていたが、換金までに年月がかかり過ぎるため、産子の市場販売に切り替えた。この値段で満足している。

山室稔さん（岡山県美星町）

ホルスタインの体内受精卵を移植する際に余った受卵牛へ体外受精卵を移植している。ホルスタイン同様、生まれてすぐから乾草を食べさせている。こんな高値で販売できるならば、今後も移植を続けたい。

情報をお待ち
しております！

家畜バイテクセンターのホームページをご存知でしょうか？
当センターのホームページには、家畜市場での産子販売成績、家畜市場への産子出荷情報、また枝肉共励会の開催結果等を中心に、皆様から寄せられた体外受精卵に関わる情報を掲載しております。

したがって、全国の市場販売成績や出荷予定情報を網羅しているわけではありません。

体外受精卵産子の付加価値を高めるためにも、最近、家畜市場で体外受精卵産子を販売された方や、近々出荷を予定されている方がいらっしゃいましたら、ぜひ当センターまでご一報下さい。

たくさんの情報をお待ちしております。



URL : <http://liaj.or.jp/ivf/>

地域特性を活かした体外受精卵の利用 ～ジャージー種の腹に体外受精卵を～

【蒜山酪農農業協同組合（岡山県真庭郡八束村）】

現在、国内で約8,000頭が飼養されているジャージー牛のうち、約2,000頭がここ蒜山高原で飼養されており、蒜山酪農農業協管内は、日本でも代表的なジャージー牛の産地として知られています。また、蒜山高原内の「ひるぜんジャージーランド」には、直売所やレストランがあり、行楽客で賑わう観光地としても有名です。

ジャージー牛は乳用種であるため、雄子牛が生まれてしまうと副産物としての価値が非常に低くなり、収益に結びつきません。それに対し、蒜山酪農農業協ではこれまで、繁殖雌の後継牛を最低限確保した上で、残りの雌牛に黒毛和種の精液を人工授精し、F1を作ってきましたが、F1産子の販売価格が思わしくなく、これまた副産物の価値を高めることができませんでした。

そこで、昨年12月から、さらに付加価値をつける目的で、人工授精ではなく、残りの雌牛の腹に黒毛和種の体外受精卵を移植する取り組みが始まっています。

現在、移植頭数8頭中、6頭が受胎。生まれた体外受精卵産子は、岡山県の総合家畜市場でスモール販売する予定です。結果が出ましたら、またご報告いたします。
(maru)



編集人から

体外受精卵の普及を始めて10年が経過しました。最近痛切に感じることは、新しいものを世に送り出すには大変な時間や労力が必要であるということです。車で電化製品でも世間に認められるものを持っている組織は、どのようにその製品を、自信を持って自身のものとしているのだろうかとその経過を良く考えます。今やっていることがあと数年で畜産界に定着し、さらにその後はNHKのプロジェクトXで取り上げられ、サクセスストーリーが報じられるなどという絵空事を考えてはいますが、冗談ではなく現実にできないものかと考えると、夜も眠れない日々です。新年度もよろしくお祈りします。

バイオワ便り

知らぬは...

『機会不平等』なる本を読んだ。読むうちに沸騰と怒りが湧いてきた。非才は非才のままという思想が、「ゆとり教育」の背後にあるとは知らなかった。

教育に限らず、知らぬうちに制度がいじられ、不公平の網が掛けられていることも結構あるのだ。知る努力の大切さを痛感した。世の中の出来事に「私には関係ない!」ことなど無いのかもしれない。貪欲に知るということが自らの権利を守り、生活を豊かにする基本なのだろう。

しかし、悲しいかなこの気持ちは決して長続きしないのである。

(紫)

初体験

「くさい! 何、この臭い?」どこから?」
その原因は...なんと台所からだった。
母が焼いている魚がクサヤだったのだ。
伊東に住む友人がお土産にくれたもので、クサヤとは聞いていなかった。
ハメられた、と思った。
だが時すでに遅く、我が家はクサヤの臭いで充満していた。
仕方がないのでクサヤは珍味。珍味=美味と思いきい、鼻をつまんで食べてみた。
うーん、まずい。味も臭いと一緒だ。
サヨウナラクサヤ。もう会うことはないでしょう
(監督)

ビックボンの独り言

雛人形を飾るようになって7年が経つ。
長く使うものだし、自分で全部出し入れするからとの条件で、妻や母の反対を押し切り段飾りを購入した。
飾ってしまった。特に片づけるのが億劫である。
1、2年目は楽しく飾って片付けたが、その後からはだんだんいい加減に片づける様になってしまった。
初めはこまごまとしたものを、届いた時と同じように1つ1つ丁寧に包んでしまっていたが、今では、いくつものものをひとまとめにしまいい、余った袋や包み紙などは丸めて箱の隅に1応いずれ何かが壊れるか無くなるかして、娘が中学を卒業する頃まで雛人形を全て揃った状態で飾ることが出来るか不安である。
しまっ作業を見ていた息子が、「僕のカブトはまだ?」と聞いてきた。もちろんカブトも妻の反対を押し切って買ったものである。
(秀平・蟻トは「仁尻虎アデB」)